キャラクター名
イワン・クルシンスキー

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ ブラックドッグ	ワークス	FHマーセナリーD	カヴァー	謎の遊び人
オプショナル		年齢		性別	
覚醒	素体	衝動	破壊	初期侵食率	39 %
出自	軍人家系	経験	大祖国戦争	邂逅	Dロイス:超血統

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	4		0			4
感覚	2		0			2
精神	2		0			2
社会	0	1	0			1

HP	60
行動値	6
(非装備時)	6
戦闘移動	11
全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	10		ＲＣ			交渉	1	
回避			知覚			意志	1		調達	2	
運転：航空機	1		芸術：			知識：			情報：軍事	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：FH	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
リニアキャノン	射撃	2r+18		8		対象ドッジダイス-2

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
ダーマルプレート*6	
思い出一品	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
故郷	P 懐旧	N 劣等感		
ヴィクトーリア	P 尊敬	N 敵愾心		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6	残り財産P： 4

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
アタプロ	5	2	メ					
効果：達成値+LV*2								
ハードワイヤード	7							
効果：アイテム取得								
マグネットフォース	1	2	オート					
効果：カバーリング								
磁力結界	8	4						
効果：ガード+LVD								
バリクラ	3	4	メ				80	
効果：ガー不装甲貫通シナLV回								
雷神の降臨	5	6	セップ				100	
効果：ATK+lv*5　行動値0								
アンテナモジュール	★							
効果：俺が基地局								
タッピングオンエア	★	1						
効果：俺が放送局								
人間発電機	★							
効果：俺が発電所								
セキュリティカット	★	1						
効果：俺が電子錠								
効果：								
効果：								
効果：								

元ソビエト赤軍大尉。独ソ戦において自ら「超兵計画」への参加を志願。
スターリングラードに置かれた地下施設において人体改造が行われたが、戦況が悪化。
スターリングラードは戦場となり、地下施設の存在は機密であったこともありそのまま瓦礫の下敷きとなる。
そのまま忘れられた場所となり、町名がヴォルゴグラードに代わった後のメトロ工事において発見される。
ロシア政府はこれを負の遺産として改造兵士ごと施設を消そうとしたが、FHが介入。
イワンを始めとした複数の「超兵」即ち、サイボーグ兵士をFHは獲得する。

以降、ロシア内でのFHの作戦行動に投入され、モスクワで発生したUGNとの衝突「バトゥ・ハンの亡霊事件」「三日月斧の夜事件」「シェレメーチエヴォ国際空港占拠」
などにおいてUGN【ビラスィニエーシカ】及びその隊長ヴィクトーリアと何度も刃を交えている。
サイボーグ化の影響で人としての感情は希薄であるため、ヴィクトーリア本人には特に悪感情はない。ただ「高い戦力評価を持つ敵」という認識である。

彼が戦い続けるのは、つまり名誉のためである。それは道徳的に倫理的に優位に立つことではなく、戦士としての名誉。つまり、強敵と戦い、これを倒すことを望んでいる。
それが、祖国に対してかつて身を捧げ、しかし何もできずに生き埋めとなった彼に空いた空虚な心と改造で摩耗した精神を癒す、唯一のものである。

オフの際はひたすらお茶と焼菓子を消費している。生き埋めになったときの飢餓感（サイボーグである都合実際には飲食はほぼ不要だし、施設内で培養液に漬かっていた都合エネルギー消費もなく実際に飢餓を経験したわけではないが）のためだと思われる。
樽一杯のヴァレニエとバスケット一杯のビスケット（Бочка варенья и корзина печенья）
を文字通りむっしゃむっしゃむっしゃ放っておくと食べてしまう。